

事務事業名		在来下水対策事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	終了
H27担当課等名	土木課	H27係等名	市街地基礎整備係		H26係等名		市街地基礎整備係					
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり									
	施策	41	災害対策の推進									
目的	対象(誰・何を)	橋南地区、橋北地区の排水不良地区内戸数。						指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	在来下水の不良か所を補修することにより、大雨や台風の被害を最小限にとどめる						対象戸数:戸		2831		
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	単年度整備済対象戸数:戸				28	28	20	20			
	定性目標											
事業概要	・昭和22年の大火前から橋南地区、橋北地区に布設されている在来下水管の老朽化により不具合が生じている箇所について、機能回復を図るため早期に整備を進める。											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	橋南、橋北地区一帯の在来下水の整備					施工延長			L=49.3m			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		3,062	2,966	2,964	2,500							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		3,062	2,966	2,964	2,500							
人件費計(千円)②		215		429								
正規職員所要時間		60		120								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		3,277	2,966	3,393	2,500							
事業内容・目標達成状況の振り返り	在来下水として、老朽化した雨水渠の整備改修ができた。また、滞水箇所も合わせて改修する事が出来た。											
改革改善の考え方	①問題点	民地や建物の地下に存在する場合は、その布設替えが困難な箇所が多く、課題となっている。また、住宅の建替えにより突発的に布設替えが必要となる事がまれにあり計画的な施工が難しい。										
	②改革提案	滞水箇所や開渠部など、環境問題や、安全対策が必要な箇所を計画的に施工する。水道老朽管布設替えなどの計画とあわせ集中的に対策を講じる。										